

調 査 概 要

1. 調査目的

この調査は、区民が区政に対してどのような意見・要望を持っているかを把握し、今後の区政を進めていくうえでの基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査項目

- | | |
|--------------------|----------------|
| (1) 定住性 | (11) 災害時の備え |
| (2) 区政 | (12) 男女共同参画の推進 |
| (3) 区の基本構想 | (13) 平和資料館 |
| (4) 職員対応 | (14) 多文化共生 |
| (5) 福祉と医療 | (15) 文化活動 |
| (6) 認知症 | (16) スポーツ |
| (7) 障害者を支える取り組み | (17) たばこマナー |
| (8) 子育て・子どもを取り巻く環境 | (18) せたがやPay |
| (9) 地域コミュニティ | (19) 世田谷区公契約条例 |
| (10) 区民交流スペース | |

3. 調査設計

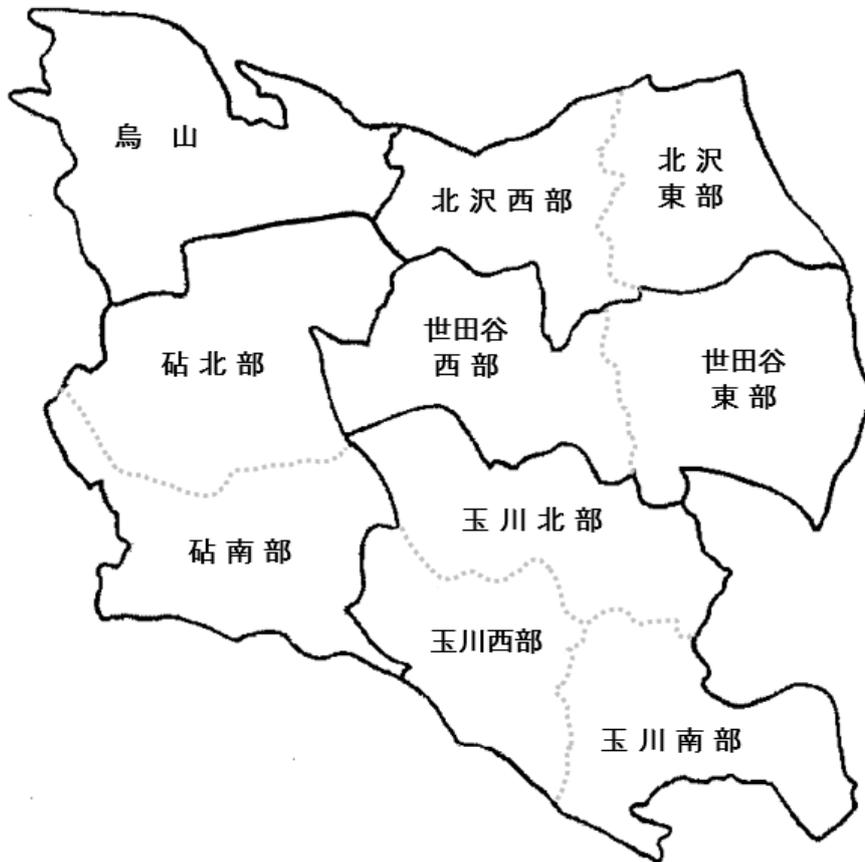
- | | |
|----------|---------------------------|
| (1) 調査対象 | 世田谷区在住の満18歳以上の男女 |
| (2) 対象数 | 4,000人（内訳／3,882人、外国籍118人） |
| (3) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布・回収またはインターネットによる回答 |
| (5) 調査期間 | 令和5年5月19日～6月9日 |
| (6) 調査機関 | 株式会社アダムスコミュニケーション |

4. 標本設計

- | | |
|-----------|------------------|
| (1) 母集団 | 世田谷区在住の満18歳以上の男女 |
| (2) 対象数 | 4,000人 |
| (3) 調査地点数 | 200地点 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |

【層 化】

世田谷区内を町丁目単位として、次の10地域に分類しそれぞれを層として計10層とした。



【標本数の配分】

各地域（層）における18歳以上の人口数（令和5年4月1日現在）により、4,000の標本数を配分した。

【抽 出】

① 調査地点の抽出数については、1調査地点の標本数が20になるように、各地域（層）に当てられた標本数より算出し、決定した。

② 調査地点は、各地域（層）ごとに、

$$\frac{\text{地域（層）における人口数}}{\text{地域（層）で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$

を算出し、等間隔抽出法によって、調査地点となる対象者抽出のための町丁目における起算番号を算出した。

③ 対象者の抽出の名簿として、住民基本台帳を使用した。抽出された調査地点における対象者の抽出は、町丁目指定された起算番号目の人を第1番目の抽出対象とし、以下一定の抽出間隔で指定の対象数20を系統的に抽出した。

地域別町丁名一覧表

地域	町丁目
世田谷東部	池尻 1～4丁目
	下馬 1～6丁目
	三宿 1～2丁目
	太子堂 1～5丁目
	三軒茶屋 1～2丁目
	野沢 1～4丁目
	若林 1～5丁目
	上馬 1～5丁目
	駒沢 1～2丁目
世田谷西部	世田谷 1～4丁目
	弦巻 1～5丁目
	宮坂 1～3丁目
	桜 1～3丁目
	経堂 1～5丁目
	桜丘 1～5丁目
北沢東部	北沢 1～5丁目
	代沢 1～5丁目
	大原 1～2丁目
	羽根木 1～2丁目
	代田 1～6丁目
北沢西部	松原 1～6丁目
	梅丘 1～3丁目
	豪徳寺 1～2丁目
	赤堤 1～5丁目
	桜上水 1～5丁目
玉川北部	駒沢公園
	駒沢 3～5丁目
	新町 1～3丁目
	深沢 1～8丁目
	桜新町 1～2丁目
	用賀 1～4丁目
	上用賀 1～6丁目
	玉川台 1～2丁目

地域	町丁目
玉川南部	奥沢 1～8丁目
	東玉川 1～2丁目
	玉川田園調布 1～2丁目
	等々力 1～8丁目
	尾山台 1～3丁目
	玉堤 1～2丁目
玉川西部	中町 1～5丁目
	野毛 1～3丁目
	瀬田 1～5丁目
	上野毛 1～4丁目
玉川 1～4丁目	
砧北部	船橋 1～7丁目
	千歳台 1～6丁目
	祖師谷 1～6丁目
	砧 1～8丁目
	成城 1～9丁目
砧南部	大蔵 1～6丁目
	砧公園
	岡本 1～3丁目
	鎌田 1～4丁目
	喜多見 1～9丁目
宇奈根 1～3丁目	
烏山	八幡山 1～3丁目
	南烏山 1～6丁目
	粕谷 1～4丁目
	北烏山 1～9丁目
	給田 1～5丁目
	上祖師谷 1～7丁目
上北沢 1～5丁目	

5. 回収結果

(1) 有効回収数 1,832人 (内訳/日本国籍 1,797人、外国籍 35人)

(2) 有効回収率 45.8%

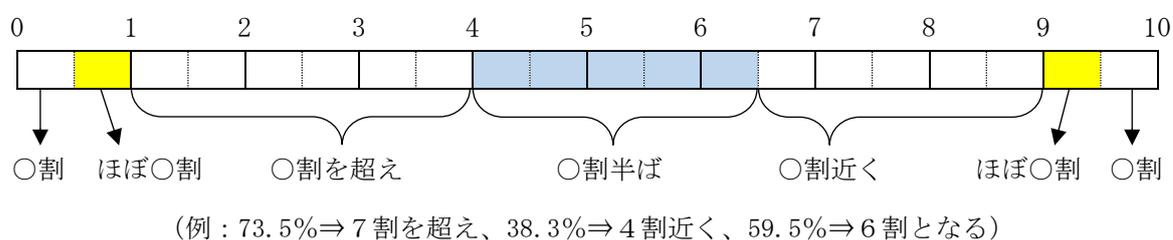
(内訳/郵送回収 1,160通・63.3%、インターネット回収 672通・36.7%)

回収結果内訳 (人口は令和5年4月1日現在)

		標本数A	調査地点数	18歳以上の人口数(母集団)	回収数B	回収率 C=B/A	
全体		4,000	200	790,609	1,832	45.8%	
地区	世田谷	東部	660	33	130,224	274	41.5%
		西部	460	23	90,713	225	48.9%
	北沢	東部	340	17	66,061	154	45.3%
		西部	360	18	69,909	145	40.3%
	玉川	北部	360	18	72,902	151	41.9%
		南部	340	17	68,016	166	48.8%
		西部	260	13	51,766	124	47.7%
	砧	北部	500	25	96,830	220	44.0%
		南部	200	10	40,807	93	46.5%
	烏山		520	26	103,381	250	48.1%
無回答		-	-	-	30	-	
性別×年齢	男性	計	1,845	-	369,110	703	38.1%
		10歳代・20歳代	322	-	65,052	59	18.3%
		30歳代	320	-	59,453	80	25.0%
		40歳代	358	-	71,174	119	33.2%
		50歳代	331	-	69,385	135	40.8%
		60歳代	227	-	44,850	131	57.7%
		70歳代	176	-	36,136	109	61.9%
		80歳以上	111	-	23,060	70	63.1%
	無回答	-	-	-	0	-	
	女性	計	2,155	-	421,499	1,077	50.0%
		10歳代・20歳代	325	-	68,652	77	23.7%
		30歳代	350	-	65,581	140	40.0%
		40歳代	402	-	78,146	191	47.5%
		50歳代	361	-	74,498	220	60.9%
		60歳代	269	-	46,916	176	65.4%
		70歳代	223	-	44,203	155	69.5%
		80歳以上	225	-	43,503	116	51.6%
無回答	-	-	-	2	-		
その他		-	-	-	10	-	
無回答		-	-	-	42	-	

6. この報告書のみかた

- (1) 百分比は回答者数（該当設問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字はすべて小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、比率の合計が必ずしも 100.0%にならない場合がある。同様に、複数の回答の合計値も図表の数字が一致しない場合がある。
- (2) 設問中に特に指示がない限り、回答は 1 つである。
- (3) 複数回答の設問は、すべての比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- (4) 設問に対して無回答があったクロス集計による分析では、各回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない。
- (5) 基数が 30 に満たないデータについては参考値とする。
- (6) 数値を考察するにあたり、割合の表現は以下のとおりとしている。



7. 標本誤差

下記は二段抽出の標本誤差算出の数式である。

$$(\text{標本誤差}) \quad b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団（世田谷区全体）
n=比率算出の基礎（サンプル数）
p=回答比率

Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ とみなすことができるので、標準誤差の範囲は、次の

標本誤差早見表のとおり求められる。

標本誤差早見表

基数(n)		回答比率(p)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後	
総数		1,832	± 2.0%	± 2.6%	± 3.0%	± 3.2%	± 3.3%	
地域	世田谷	東部	274	± 5.1%	± 6.8%	± 7.8%	± 8.4%	± 8.5%
		西部	225	± 5.7%	± 7.5%	± 8.6%	± 9.2%	± 9.4%
	北沢	東部	154	± 6.8%	± 9.1%	± 10.4%	± 11.2%	± 11.4%
		西部	145	± 7.0%	± 9.4%	± 10.8%	± 11.5%	± 11.7%
	玉川	北部	151	± 6.9%	± 9.2%	± 10.5%	± 11.3%	± 11.5%
		南部	166	± 6.6%	± 8.8%	± 10.1%	± 10.8%	± 11.0%
		西部	124	± 7.6%	± 10.2%	± 11.6%	± 12.4%	± 12.7%
	砧	北部	220	± 5.7%	± 7.6%	± 8.7%	± 9.3%	± 9.5%
		南部	93	± 8.8%	± 11.7%	± 13.4%	± 14.4%	± 14.7%
	烏山		250	± 5.4%	± 7.2%	± 8.2%	± 8.8%	± 8.9%
性別	男性	703	± 3.2%	± 4.3%	± 4.9%	± 5.2%	± 5.3%	
	女性	1,077	± 2.6%	± 3.4%	± 3.9%	± 4.2%	± 4.3%	
年代	10・20歳代	138	± 7.2%	± 9.6%	± 11.0%	± 11.8%	± 12.0%	
	30歳代	221	± 5.7%	± 7.6%	± 8.7%	± 9.3%	± 9.5%	
	40歳代	313	± 4.8%	± 6.4%	± 7.3%	± 7.8%	± 8.0%	
	50歳代	360	± 4.5%	± 6.0%	± 6.8%	± 7.3%	± 7.5%	
	60歳代	311	± 4.8%	± 6.4%	± 7.3%	± 7.9%	± 8.0%	
	70歳代	265	± 5.2%	± 6.9%	± 8.0%	± 8.5%	± 8.7%	
	80歳以上	194	± 6.1%	± 8.1%	± 9.3%	± 9.9%	± 10.2%	

基数(n)	回答比率(p)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
n = 2,500 の場合	(2,500)	± 1.7%	± 2.3%	± 2.6%	± 2.8%	± 2.8%
n = 2,000 の場合	(2,000)	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.2%
n = 1,500 の場合	(1,500)	± 2.2%	± 2.9%	± 3.3%	± 3.6%	± 3.7%
n = 1,000 の場合	(1,000)	± 2.7%	± 3.6%	± 4.1%	± 4.4%	± 4.5%
n = 800 の場合	(800)	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
n = 600 の場合	(600)	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
n = 400 の場合	(400)	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
n = 200 の場合	(200)	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
n = 100 の場合	(100)	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

(注) この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答数が1,832人であり、その設問の選択肢の回答比率が40.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高で±3.2%である。」